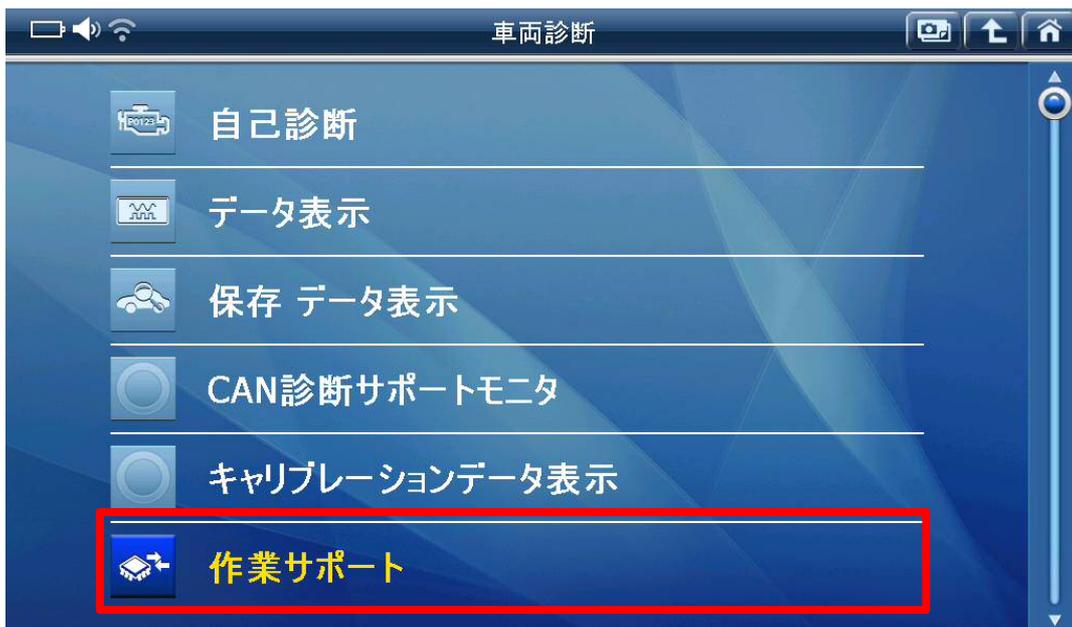


日産車-エンジンブレーキ調整について

■適応車種:日産車全般(CVT、OBD16ピン装備車)

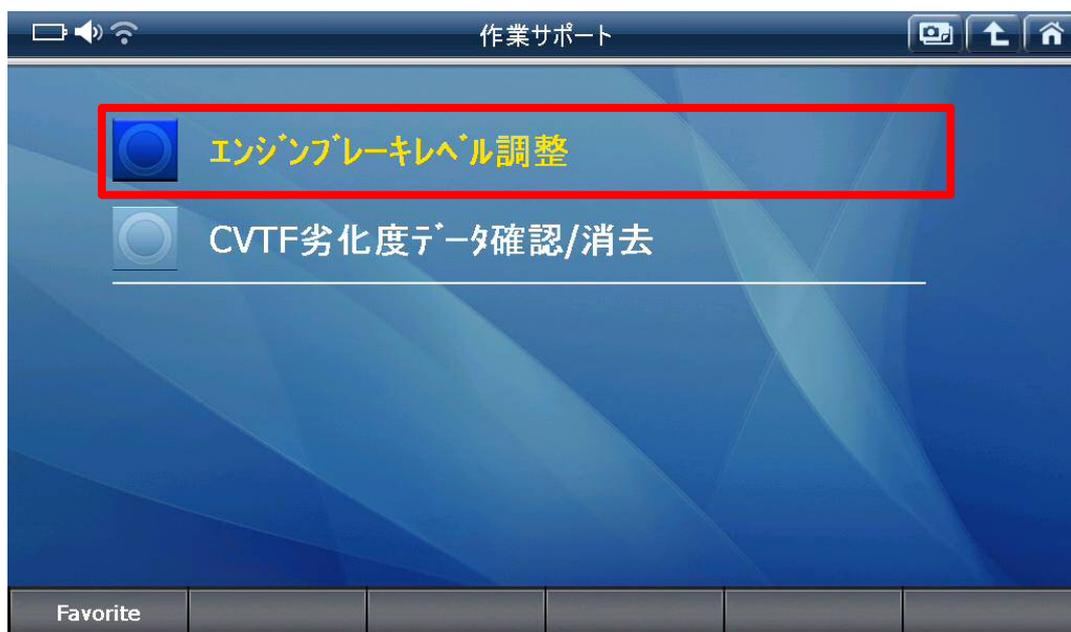
トランスアクスル本体及び、CVTシステムに異常がないが、“下り坂でエンジンブレーキが勝手に効くのは違和感がある”等の指摘があった場合、『エンジンブレーキ調整』にてエンジンブレーキ解除が可能です。以下に故障診断機(G-scan)を使用した、『エンジンブレーキ調整』の方法を記載しますので、参考にしてください。

1. IG SW OFF の状態で診断コネクタ(OBD16ピン)に G-scan を接続してください。
2. IG SW ON(エンジン始動)、G-scan の電源を ON にして車種、システムを選択してください。選択するシステムは『CVT』を選択してください。
3. 診断メニューが表示されます。『作業サポート』を選択してください。



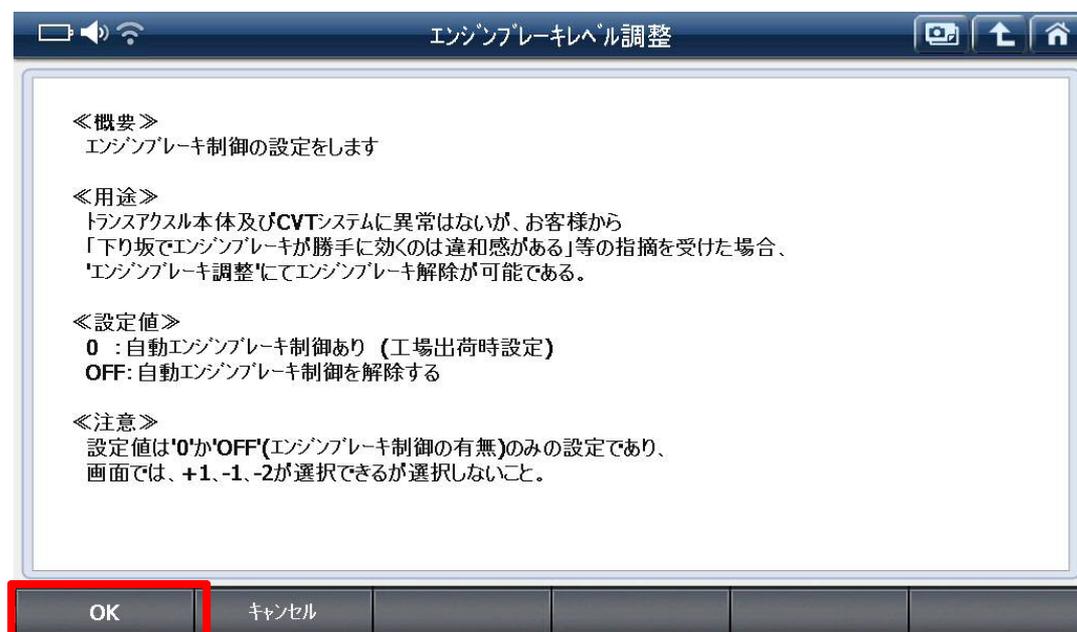
〈図:作業サポートを選択〉

4. 『エンジンブレーキレベル調整』を選択してください。



〈図:エンジンブレーキレベル調整を選択〉

5. 以下の画面が表示されます。内容を確認し、『OK』ボタンをタッチしてください。



〈図:エンジンブレーキレベル調整説明画面〉

6. エンジンブレーキレベル調整画面が表示されます。以下の部分をタッチして自動エンブレレベルを設定してください。



〈図:エンジンブレーキレベル調整画面〉

■自動エンブレレベル

- 0 : 初期設定値(自動エンジンブレーキ制御あり)
- OFF : 自動エンジンブレーキ制御を解除する。

※注意※

本機能は 0-OFF(エンジンブレーキ制御の有無)のみの設定であり、エンジンブレーキの強弱を設定するものではありません。本機能では+1、-1、-2 が選択できますが、選択しないでください。

7. 設定する自動エンブレレベルが決定したら、『OK』ボタンをタッチしてください。設定が反映されます。設定を終了する場合は『キャンセル』ボタンをタッチして設定を終了してください。